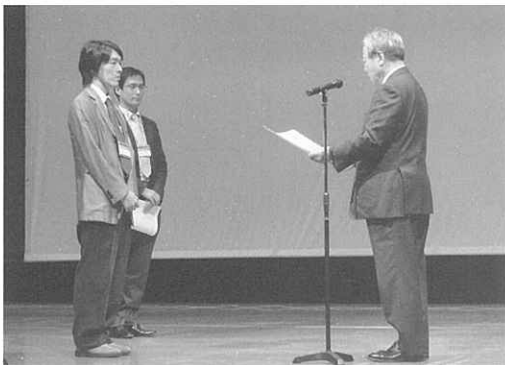


## 第11回学術総会会長賞を受賞して

京都大学医学部附属病院 医療情報学 中川義章

このたびは学術総会会長賞という荣誉ある賞を頂き、第11回日本医療マネジメント学会学術総会の米倉学会長をはじめ、本学会理事長である宮崎理事長に深く感謝申し上げます。また、本論文を有意義なものとするためにご尽力をいただきました編集部の皆様方にも、深く御礼申し上げます。この賞は本学術総会が開催されてから10年目の記念すべき集会において発表させていただき、推薦論文として「人件費をベースとした新たな病院経営指標を用いた国立病院機構における5年間の分析」として論文化させていただきました。本論文では近年非常に大きな問題となっております経営状況の病院間比較をどの様に行っていくかと言うことを、人件費をベースとして新たな指標を作成することにより解決を目指しております。本指標では、これまで病院毎に状況の異なる背景を加味しなければいけなかった各経営指標を、本指標を用いることにより共通かつ簡便に経営状態の比較を可能としています。このような荣誉ある賞を受賞したことにより、本手法が多くの経営に悩む経営者達の目にとまり、今後病院経営の資料作りの有力な方法として役立たせていただければと考えております。



第11回学術総会会長賞を授与される中川義章氏

行うように規定しています。基礎講習に関しては、ア)医師法、医療法、薬事法、健康保険法などの関連法規の概要、イ)個人情報の保護に関する事項、ウ)当該医療機関で提供され



会場風景

る一般的な医療内容、および各配置部門における医療内容や用語など、エ)診療録などの記載・管理、および代筆、代行入力、オ)電子カルテシステム(オーダーリングシステムを含む)の5項目を履修するように定めています。

今回の講習会はこの規定に沿ったものであり、特に、①医学用語の習得、②模擬カルテを用いた書類作成等の実践能力の養成に重点を置きました。自宅学習(レポート提出)の時間を4時間と極力少なくした結果、一日7時間の講習会となりましたが、受講者の皆さんは大変熱心に受講され、チーム医療を支える一員としての熱意、志の高さが窺えました。修了者には、宮崎理事長名で修了証が授与されました。

今後、学会としては「医療文書作成の専門家」として医師事務作業補助者の生涯教育の場や情報交換の場の提供、上級資格の認定など、医師事務作業補助者の社会的地位の向上に努めていく必要を感じました。最後に、会場を快く提供して下さり、また受講生に気分不良者が出た際、診療をしていただくなど、大変なご配慮を頂いた日本医科大学の関係者の皆様に心から深謝申し上げます。

## 支部学術集会開催報告

### 第4回兵庫支部学術集会

学術集会会長：兵庫医科大学医療情報学主任教授 宮本正喜

第4回兵庫支部学術集会が平成22年3月21日(日)に兵庫医療大学オクタホールにておこなわれました。基調講演では邊見公雄先生による「“生命輝かそう日本医療マネジメント学会兵庫県支部”～DPC導入から5年 これまでとこれから～」(座長：公文啓二先生)のご講演があり、特別講演では松田晋哉先生による「DPCデータを用いた医療マネジメント」(座長：盛岡茂文先生)のご講演がありました。また、教育講演では宮原勅治先生による「情報からみた医療の経営」(座長：小坂井嘉夫先生)のご講演がありました。参加者は100名弱でしたが、DPC、医療安全、クリティカルパス、医療マネジメント等についての多岐に亘る発表があり、活発な議論が行われました。最後に、次期第5回兵庫支部学術集会の会長である中井 亨病院長(済生会兵庫県病院)から次期の学術集会の準備状況の報告があり学術集会を終了しました。

## 開催報告

### 分科会等

### 2010年度第1回医師事務作業補助者講習会

—講義と模擬カルテによる書類作成の実務実習を通じた実践力の涵養—

松本市立波田総合病院 副院長 中村雅彦

2010年度第1回医師事務作業補助者講習会が、5月22日(土)、23(日)、29(土)、30(日)の4日間にわたり、日本医科大学教育棟2階 講堂を会場に開催され、全国から127名の受講者がありました。平成20年から始まった「医師事務作業補助体制加算」の要件として、厚労省は32時間の医学に関する基礎講習と、臨床の現場での6ヶ月間の職場内研修を